

大山寺地区上質化推進基本計画

【概要版】

令和2年2月

大山寺地区上質化プロジェクト協議会

大山寺地区上質化推進基本計画【概要版】 目次

はじめに	P.1
1. 特性と課題	P.1
1. 1 大山寺地区の特徴	P.1
1. 2 対象区域	P.2
2. 基本方針の設定	P.3
2. 1 コンセプト	P.3
2. 2 目指すべき姿	P.3
2. 3 課題と取り組みの方向性	P.3
3. 上質化プロジェクトの実施	P.5
4. 上質化関連事業の実施及び検討	P.6
5. 構想事業の検討	P.8

はじめに

鳥取県西伯郡大山町は、鳥取県西部の中心都市である米子市から東に約 15km、中国地方の最高峰大山の北西側の裾野に広がり、北側は日本海に面し、南部には日本百名山である大山（標高 1,729m）があります。大山寺地区は、大山山麓の標高 700～800m の大山隠岐国立公園内に位置し、霊峰大山から麓の田園風景、日本海までを一望でき、単なる山岳リゾートの枠に留まらず、海・里・山という自然の大きな循環を実感できるロケーションにあります。周囲はブナを中心とする広大な落葉樹林に囲まれ、修験道の地であった霊峰大山を背景に成立した大山寺の門前町です。大山寺地区周辺のかつての大山寺の境内地一帯は、国史跡大山寺旧境内として指定されています。また、「地藏信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市」として日本遺産の認定を受けています。

このように、大山寺地区は、自然と歴史が混ざり合う稀有な景観、資源を有しているため、「鳥取県景観計画」において「景観形成重点区域」に指定されています。加えて、当地区が含まれる大山隠岐国立公園は、環境省が進める「国立公園満喫プロジェクト」のモデル公園に選定され、訪日外国人観光客を中心とした受け入れ体制強化の取り組みが進められています。

本計画においては、大山寺地区周辺で過去に策定された計画の見直しと整理を進めるとともに、現状の課題の洗い出しを行い、来訪者が増加しているインバウンドやアウトドア利用者、障がい者や高齢者に対応するバリアフリーを含めたユニバーサルデザイン等、近年多様化する来訪者のニーズに対応した大山寺地区のサービス設備等の再整備と大山の魅力を向上させる施策に関する方針を策定します。

1. 特性と課題

1. 1 大山寺地区の特徴

大山寺地区は、大山の自然と歴史、文化を巡る旅の拠点であり、大山寺堂等への参詣や大山登山、スキー・スノーボード等のウィンタースポーツ等、大山観光の玄関口として、また広域観光の拠点として機能しています。大山町観光案内所（大山町）、大山自然歴史館（鳥取県）、大山ナショナルパークセンター（環境省）等の観光案内施設を中心として、宿泊施設、商業施設、スキー場、キャンプ場、温浴施設といった観光客が必要とする各種施設が揃っています。

1. 2 対象区域

本計画においては、大山寺地区を対象とします。その中で、大山寺参道を中心に、大山寺本堂、大神山神社奥宮を含む「大山寺参道エリア」、大山アルペンライン地区の旅館等が立地するエリアを中心に、スキー場や豪円山野営場を含む「アルペンライン・スキー場エリア」、大山夏山登山道入口や下山野営場、大山寺阿弥陀堂を中心とした「登山口エリア」の3エリアに区分します（下図）。

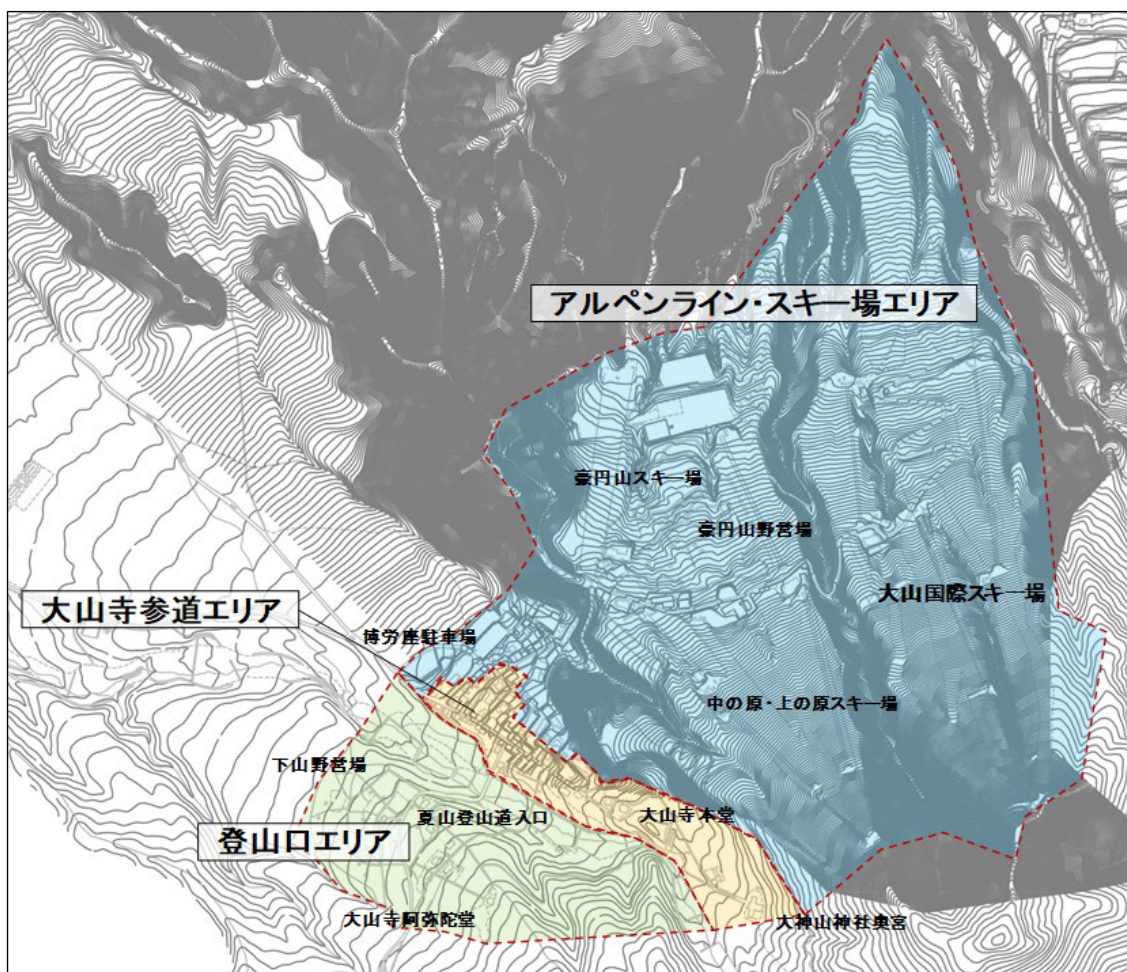


図 本計画対象区域

2. 基本方針の設定

2. 1 コンセプト

大山隠岐国立公園に含まれる当地区は、霊峰・大山を中心とした豊かな自然とそこに育まれてきた歴史や文化、それを楽しむアウトドア・アクティビティの拠点としての機能が最大の特徴です。また、国立公園満喫プロジェクトのモデル公園として、訪日外国人旅行者の受け入れ態勢を整えることが重要です。

自然の成り立ちとその豊かさ、そこに育まれる歴史や文化を体験できる拠点地区として、来訪者誰もが気持ちよく大山を満喫できる空間を創出することを本計画の方針とし、コンセプトを以下のとおり設定します。

だれもが心地よく自然・歴史・文化を満喫できる大山寺地区

2. 2 目指すべき姿

○ 自然と調和した歴史・文化が守られ活かされる大山寺地区

自然豊かな大山と、その麓で育まれた大山寺を中心とした歴史・文化やその景観が、当地区最大の魅力です。この魅力を損なわないことを第一に考え、かつ最大限に魅力を引き出す上質な滞在空間を目指します。

○ 多様な利用者がストレスなく安心して快適に滞在できる空間

アウトドアユーザー、国内旅行者、インバウンド客、高齢者、障がい者等、多様なニーズを持った来訪者が想定されます。これらの来訪者が、極力ストレスを感じにくく、安心して大山の魅力を楽しめる空間を目指します。

2. 3 課題と取り組みの方向性

当地区はコンセプトにあるように、自然・歴史・文化の多方面で高いポテンシャルを有しています。しかし、ハード面、ソフト面ともに、訪日外国人を含む多様な来訪者を受け入れる環境が十分に整備されているとは言えず、当地区が持つポテンシャルが十分に活かされていないのが現状です。そのため、多様なニーズを持つ来訪者がストレスなく地域の魅力を満喫できる環境を整えていくことが課題です。

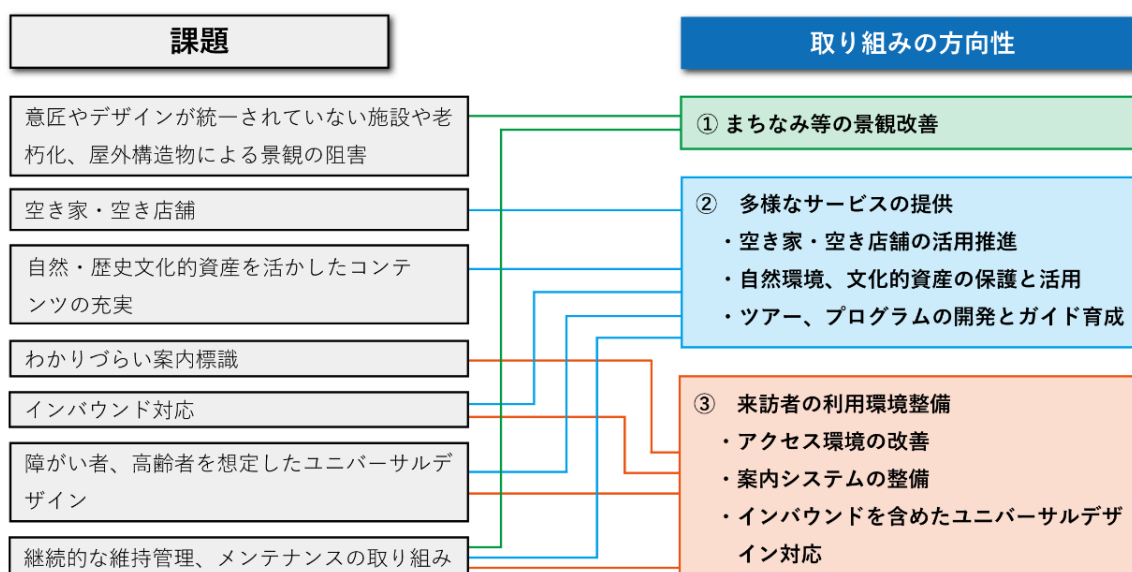
今後、当地区の『目指すべき姿』を実現し、世界水準の「ナショナルパーク」を目指す大山隠岐国立公園における中心的な拠点エリアとなるための課題と取り組みの方向性を以下の通り定め、各々の状況に応じた取り組みを進めていきます。

○ 課題

- ・意匠やデザインが統一されていない施設や老朽化、屋外構造物による景観の阻害
- ・空き家・空き店舗
- ・自然・歴史文化的資産を活かしたコンテンツの充実
- ・わかりづらい案内標識
- ・インバウンド対応
- ・障がい者、高齢者を想定したユニバーサルデザイン
- ・継続的な維持管理、メンテナンスの取り組み

○ 取り組みの方向性

- (1) まちなみ等の景観改善
- (2) 多様なサービスの提供
 - a) 空き家・空き店舗の活用推進
 - b) 自然環境、文化的資産の保護と活用
 - c) ツアー、プログラムの開発とガイド育成
- (3) 来訪者の利用環境整備
 - a) アクセス環境の改善
 - b) 案内システムの整備
 - c) インバウンドを含めたユニバーサルデザイン対応



3. 上質化プロジェクトの実施

大山寺地区の目指すべき姿を実現するために、取り組みの方向性に沿って多様な事業の実施及び検討を行います。

上質化プロジェクトでは、計画対象エリアの内、各エリアの中心に位置する大山寺参道周辺とアルペンラインの宿泊施設や商業施設が集中するエリアを利用拠点として設定し、まちなみ等の景観改善、空き家・空き店舗の活用等、滞在拠点として集中的な整備を図ります。上質化プロジェクトで実施する事業は、国立公園利用拠点滞在環境等上質化事業の活用が見込まれます。

【取り組み方針（１） まちなみ等の景観改善】

取 組 方 針	実施エリア	想定主体
老朽化した店舗や旅館などの建物等の修繕や模様替え、むき出しになって見栄えが悪い附帯設備の隠ぺいを行い、地区の景観向上を図る。	全域	施設所有者等
大山寺参道とアルペンラインを中心とする二つのエリアの建物と店舗看板の意匠等を統一するようデザインガイドを作成する。	全域	大山町

【取り組み方針（２） 多様なサービスの提供】

（a）空き家・空き店舗の活用等の推進

取 組 方 針	実施エリア	想定主体
空き家や空き店舗をカフェや宿泊施設といった滞留拠点として整備し、滞在時間の長時間化と利用者の満足度向上を図る。	全域	施設所有者等

4. 上質化関連事業の実施及び検討

上質化プロジェクトの実施によって整備する利用拠点の効果を、より面的に広がりのあるものにするために推進していくべき事業を上質化関連事業として位置づけ、取り組みの充実を図ります。上質化関連事業では、事業対象エリアを計画エリア全体に拡大し、利用拠点となる大山寺参道周辺とアルペンラインの宿泊施設や商業施設が集中するエリアエリアを中心に、隣接するスキー場エリア、登山口エリアにおいても、自然・歴史・文化を満喫できる取り組みを実施及び検討し、地区全体の満足度の向上を図ります。

【取り組み方針（１） まちなみ等の景観改善】

取 組 方 針	実施エリア	想定主体
景観を阻害する利用見込みのない廃屋を撤去し、自然環境を活かした引き算の景観形成を検討する。	全域	施設所有者等

【取り組み方針（２） 多様なサービスの提供】

（a）空き家・空き店舗の活用等の推進

取 組 方 針	実施エリア	想定主体
空き家や空き店舗をカフェや宿泊施設といった滞留拠点として整備し、滞在時間の長時間化と利用者の満足度向上を図る。	全域	施設所有者等

（b）自然環境・文化的資産の保護と活用

取 組 方 針	実施エリア	想定主体
大山登山における携帯トイレの普及促進の検討や、入山協力金等を募り、携帯トイレの処分費、環境保護等の活動に活用することを検討する。	登山口	鳥取県 大山町 環境省
暖冬による雪不足が懸念されるなか、インバウンドのニーズにも応えるスキー場経営の対策を関係者で検討する。	アルペンライン・スキー場	地域関係者
スキー場のグリーンシーズンにおいて、イベントの実施や滞留拠点となる施設整備等、その立地を活かした活用を検討する。	アルペンライン・スキー場	民間事業者 大山町
下山野営場と豪円山野営場について、民間事業者の知見を活用しつつ、外国人利用者のニーズにも対応できるよう再整備するとともに、下山・豪円山の各エリアの利用の増進につながるよう効果的な運営を検討する。	登山口 アルペンライン・スキー場	環境省 民間事業者
大山寺旧境内の文化財等の保存と活用に関する計画を策定し、史跡大山寺旧境内の望ましい将来像を定め、適切な保存管理と観光利用を含めた活用を図る。	全域	大山町
大山寺参道沿いや遊歩道等に隣接する自然や歴史文化的資産の解説板を多言語化し、インバウンドでも親しめる環境整備を図る。	全域	大山町

取 組 方 針	実施エリア	想定主体
参道の空き店舗等を日本遺産の紹介スペースに活用する検討を行うとともに、日本遺産の紹介看板を設置し、歴史文化的資産への誘導を図る。	大山寺参道	大山町
星空観察ツアーや夜間のまち歩き等のナイトコンテンツの充実と夜の雰囲気づくりのため、過度な光を発する自動販売機等の光害抑制を検討する。	全域	地域関係者

(c) ツアー・プログラムの開発とガイド育成

取 組 方 針	実施エリア	想定主体
山間部と里部を結ぶツアーやコース整備、手ぶらでも自然と触れあう体験ができるコンテンツの造成を検討する。	全域	大山町
宿坊や歴史文化的資産の活用等、立ち寄りでもできる体験を通じて楽しむインバウンド向けツアーの造成を検討する。	大山寺参道	民間事業者
「一木一石運動」や「一斉清掃」などのボランティア活動を組み込んだツアーを商品化し、料金の一部を自然保護に還元する仕組みを検討する。	登山口	民間事業者
地区内の旅館等が提供するサービスを色々な組み合わせでパッケージにできるニーズに合わせた宿泊スタイルを提供する仕組みの推進を図る。	全域	民間事業者
大山観光の新たなコンテンツやツアーの商品化、マーケティング等を行うことができる人材の育成を図る。	全域	民間事業者

【取り組み方針（3） 来訪者の利用環境整備】

(a) アクセス環境の改善

取 組 方 針	実施エリア	想定主体
大山寺地区への入込客の増加や利便性・快適性、景観向上のために駐車場の整備、増設を図る。	全域	鳥取県
積雪時の冬季駐車場へのアクセス向上を図るために、博労座駐車場施設内道路に融雪装置を延長して設置する。	アルペンライン・スキー場	鳥取県

(b) 案内システムの整備

取 組 方 針	実施エリア	想定主体
老朽化した看板の更新や不要な看板の撤去、目的物への分かりやすいルート表示を行うため、既存看板の整理と不足する看板の検討を行う。	全域	大山町
統一されたまちなみの景観形成のため、観光案内板や道標、屋外広告物の意匠等のデザインガイドの作成を行う。	全域	大山町

5. 構想事業の検討

上質化プロジェクト及び上質化関連事業によって実施及び検討を行い推進する事業のほか、取り組みの方向性を検討する過程で生まれた大山寺地区の魅力向上に資すると考えられる取り組みを、構想事業として位置づけ、関係者で具体的な検討を行います。

【取り組み方針（１） まちなみ等の景観改善】

取 組 方 針	実施エリア	想定主体
まちなみに合わない無機質な電柱等の塗り替えや自然景観を活かすための電線地中化等を検討する。	全域	
利用者が立ち寄りやすい雰囲気づくりのために、地区全体でおもてなし態勢を整えるおもてなしガイドラインの作成を検討する。	全域	

【取り組み方針（２） 多様なサービスの提供】

（a）自然環境・文化的資産の保護と活用

取 組 方 針	実施エリア	想定主体
地区内の絶景スポットとなり得る場所に、展望デッキを設置する等、自然景観を体験できる環境整備を検討する。	登山口 アルペンライン・スキー場	
電動サイクル等の自転車を活用して、まちなみと自然景観を満喫できるコース作りやレンタサイクルを行う環境整備を検討する。	全域	

（c）ツアー・プログラムの開発とガイド育成

取 組 方 針	実施エリア	想定主体
点在する地蔵を巡るようなトレッキングルートの設定や、遊歩道を活かすコース設定を行い、利用者が地区で周遊できる環境整備を検討する。	全域	

【取り組み方針（３） 来訪者の利用環境整備】

（a）アクセス環境の改善

取 組 方 針	実施エリア	想定主体
積雪時の地区へのアクセス向上を図るために、大山寺橋から下山野営場付近までの道路において、融雪装置の設置を検討する。	登山口	
冬季の宿泊施設利用者等の利便性・満足度の向上のため、地区内における送迎や目的地までの移動も楽しめるような方法を検討する。	大山寺参道 アルペンライン・スキー場	
大神山神社奥宮参詣のためのアクセス向上策や緊急車両の通行のためのアクセス道の整備を検討する。	大山寺参道	

(c) インバウンドを含めたユニバーサルデザイン対応

取 組 方 針	実施エリア	想定主体
利用者が求める観光情報等へのアクセスのために、エリア全体で利用できる Wi-Fi 環境の整備に向けて検討する。	全域	
キャッシュレス支払いの設備やコミュニケーションをとる翻訳機等、外国人利用者向けの設備の整備に向けて検討する。	全域	
外国人利用者がストレスなく利用できるよう案内看板等の多言語表記や WEB 等を活用した多言語表記による情報提供を検討する。	全域	
夜間利用者の安全性と景観の向上を図るため、大山寺参道に足下灯の整備を検討する。	大山寺参道	
地区内駐車場のハートフル駐車場の確保や、急坂が多い地区内のまち歩きを容易にする施策を検討する。	全域	
地区、目的物、階段や段差の箇所を色分けしたり、目的地やバリアフリールートを示したり、直感的に分かりやすい案内媒体の整備を検討する。	全域	

大山寺地区上質化推進基本計画

【概要版】

発 行 令和2年2月

発行者 大山寺地区上質化プロジェクト協議会

問い合わせ先 大山町役場 大山支所 観光課

〒689-3332 鳥取県西伯郡大山町末長 500 番地

電話 0859-53-3110 ファクシミリ 0859-53-3163